

1. 桑部地区活動組織・団体の調査結果

2020.6.6

2020.6.12 追加・訂正

活動分類	組織・団体名	役員(ヒト)	施設(モノ)	収入(カネ)	課題
全般	地区自治会連合会	地区の自治会を五地域に分け、各地域の自治会から互選	まちづくり拠点施設	会費 : 2,260千円 補助金: 950千円	・単位自治会同士の連携が希薄。 ・防災、福祉(助け合い)の活動が形作られていない。
防犯・防災	消防団第八分団	ボランティアから互選	第八分団車庫・詰所	地区自治会連合会: 300千円	・消防団員の確保が困難。
健康・福祉	地区社会福祉協議会	地区自治会連合会役員 区域民政委員・児童委員 健康推進委員地区長 地区人権啓発推進会会長	まちづくり拠点施設	桑名市社協: 223千円 地区自治会連合会: 180千円 保険福祉事業: 40千円	・「桑和会健康クラブ」桑名いきいき体操の主体は? ・青少年育成桑部会議解散に伴う対応 ・拠点施設1Fを改装し、宅老所、子育てサロンに出来ないか。 ・桑名市社会福祉協議会と桑名市役所の連携は?
			宅老所「桑の実」	桑名市: 184千円 桑名市社協: 100千円 地区自治会連合会: 250千円	
			子ども事業	まちづくり拠点施設 桑部小学校	
	区域民生委員・児童委員	8名の委員から互選	まちづくり拠点施設	活動補助: 80千円 明正地区民児協: 50千円 地区自治会連合会: 45千円	・3年任期だが、退任を考えた時に、次をお願いできる委員を探すのが大変。 ・地域内の活動が増え、本来の見守り、相談といった活動が難しくなってきた。
	桑和会	会員から互選	まちづくり拠点施設	会費: 170千円 地区自治会連合会: 200千円 市老連活動補助: 24千円	
地区健康推進委員	4名のボランティア推進員から互選	まちづくり拠点施設	桑名市: 40千円	・測定会を実施するスペースが狭く、新型コロナの流行が収まるまで、今年度の実施は検討を要する。 ・健康ハイキングの時期、場所についても一考したい。	

活動分類	組織・団体名	役員(ヒト)	施設(モノ)	収入(カネ)	課題
人権・子どもの健全育成	桑部小学校PTA	保護者から互選	桑部小学校	会費: 631千円	
	こどもパトロール	桑部小の教頭先生	桑部小学校	地区自治会連合会: 15千円	・青少年育成桑部会議解散後の対応。
	桑部小学校運営協議会		桑部小学校		・地域との連携
	地区人権啓発推進会		まちづくり拠点施設	地区自治会連合会: 180千円	・多くの住民の方々に認知、参加してもらう工夫が必要。 ・役員、委員をやらしてもらえる人を探すのが難しくなっている。
コミュニティビジネス	地区農家組合		まちづくり拠点施設	諸管理費: 91千円 賦課割当金(会費): 1,100千円	
	(桑部農家組合)	(組合員から選挙)			
講座・サークル活動	講座・サークル代表者会		まちづくり拠点施設		
広報	現時点で該当組織なし		まちづくり拠点施設		・まちづくり協議会の活動を住民に知ってもらうための工夫。
その他	事務局施設		まちづくり拠点施設		・事務職員2名(桑名市との連絡・調整業務を含む)が必要。 ・施設の維持管理費用は恒常的に必要。

2. 調査結果のまとめ

- (1)収入に関する課題はなく、人、施設に関する課題がある。
- (2)高齢者、子どもに関する課題は早急な取り組みが必要。
- (3)こどもパトロール、広報を担当する組織・団体活動がない。
- (4)「ヒト」、「モノ」、「カネ」という資源に「情報」を付け加えるべきである。